

# STAR-ACS NEWS LETTER



## 第11号

順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研究・治験センター STAR-ACS 事務局

TEL:03-3814-5672 メールアドレス: [juntencrc@juntendo.ac.jp](mailto:juntencrc@juntendo.ac.jp)

謹啓

爽秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

先生方におかれましては、本 STAR-ACS 研究の患者登録をお進め頂き、誠にありがとうございます。

現在、10月時点で全国 **142** 施設にご参加いただき、患者登録数は **225** 例となりましたが、症例数が少なく、予定症例数到達には必ずしも順調な経過とは言えない状況でございます。ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、該当する患者さんがおられましたら**漏れなく**登録を進めていただけますようお願い申し上げます。

今回、症例登録数 例となりました、

**鳥取大学山本先生、渡部先生のメッセージをご紹介します！**

鳥取大学医学部附属病院

第一内科診療科郡循環器内科

<左> 副病院長 主任診療科長 教授

<右> 助教

山本 一博 先生

渡部 友視 先生

(やまもと かずひろ)

(わたなべ ともみ)



# 日本人に必要なエビデンスを 日本人の手で作らしましょう

亜熱帯並みの猛暑が終わり、皆様におかれましてはますます清祥のこととお慶び申し上げます。

日本人は、抗凝固薬、抗血小板薬服用中の脳出血の発症頻度が欧米人より数倍高く、海外の研究結果をそのまま持ち込めません。是非、皆様とともに、STAR-ACS から我々の患者さんに直接反映できるエビデンスを届けることができればと思っております。

ここからは、当院で本研究を中心的に担っている渡部医師から、研究実施に当たり留意していることと彼の想いを述べてもらいます。

山本 一博

当科では年間 100 例弱の緊急 PCI を行っており、治療後は CCU へ収容されます。全病棟医が CCU の情報を共有しているため自然と心房細動合併例は見落とすことなくスクリーニングできているようです。

難しく感じるのは、入院中に 3 剤併用に耐えられず、心房細動は認めるものの、冠動脈側のリスクを重くって主治医判断で抗凝固療法を敢えて退院時に外す、という場合が少数ながらあることです。退院時からエントリーおよび追跡が始まるという研究の性格上、適合患者を見つけても、上記のような方針変更や、予定より早く退院しておりエントリーできなかった、ということは起こりうると思います。これらに対してはスクリーニングで拾い上げた患者さんの担当医と同意取得前から密に連絡を取り合っていくことが重要だと思います。

PCI 後 3 剤併用の課題は長年議論されているものではありませんが、ACS に関しては日々診療している患者さんに提示できる根拠が少なく、手探りでやっているのが現状です。STAR-ACS 研究の結果は今後の治療選択の根拠となるデータになるものと信じており、この研究結果を本邦の primary PCI に携わる私たちの手でもできるだけ早く臨床現場に届けることができるよう努めていきたいと思っております。

渡部 友視

## ★ 山本 一博 (写真 左)

1986 年 3 月 大阪大学医学部卒業  
1986 年 7 月 大阪大学医学部第一内科研修医  
1987 年 7 月 大阪警察病院心臓センター医員  
1994 年 3 月 大阪大学大学院医学研究科修了  
1994 年 7 月 Mayo Clinic 留学  
1998 年 8 月 大阪大学医学部第一内科 助手  
(病態情報内科、循環器内科と講座再編)  
2005 年 7 月 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター  
特任助教授 (大学院医学系研究科循環器内科兼任)  
2007 年 4 月 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター  
特任教授  
2011 年 7 月～ 鳥取大学医学部病態情報内科学 教授  
2015 年 4 月～ 鳥取大学医学部附属病院 副病院長 (兼任)

## ★ 渡部 友視 (写真 右)

2009 年 3 月 鳥取大学医学部卒業  
2009 年 4 月 鳥取大学医学部附属病院  
ローテート研修  
2011 年 4 月 鳥取大学医学部附属病院  
循環器内科 医員  
2016 年 4 月 鳥取大学医学部附属病院  
高次集中治療部 助教  
2016 年 9 月 鳥取大学医学部大学院医学系研究科  
修了

### 【ご参加施設進捗状況と登録症例数】

平成 30 年 10 月 16 日現在で、倫理審査済み施設は 122 件、契約締結済み施設は 114 件に達しました。また、患者登録件数は 225 名です。2019 年 3 月までの目標登録症例数は、400 件です。3 月までに目標数に到達するためには、ひと月 30 例必要となります。

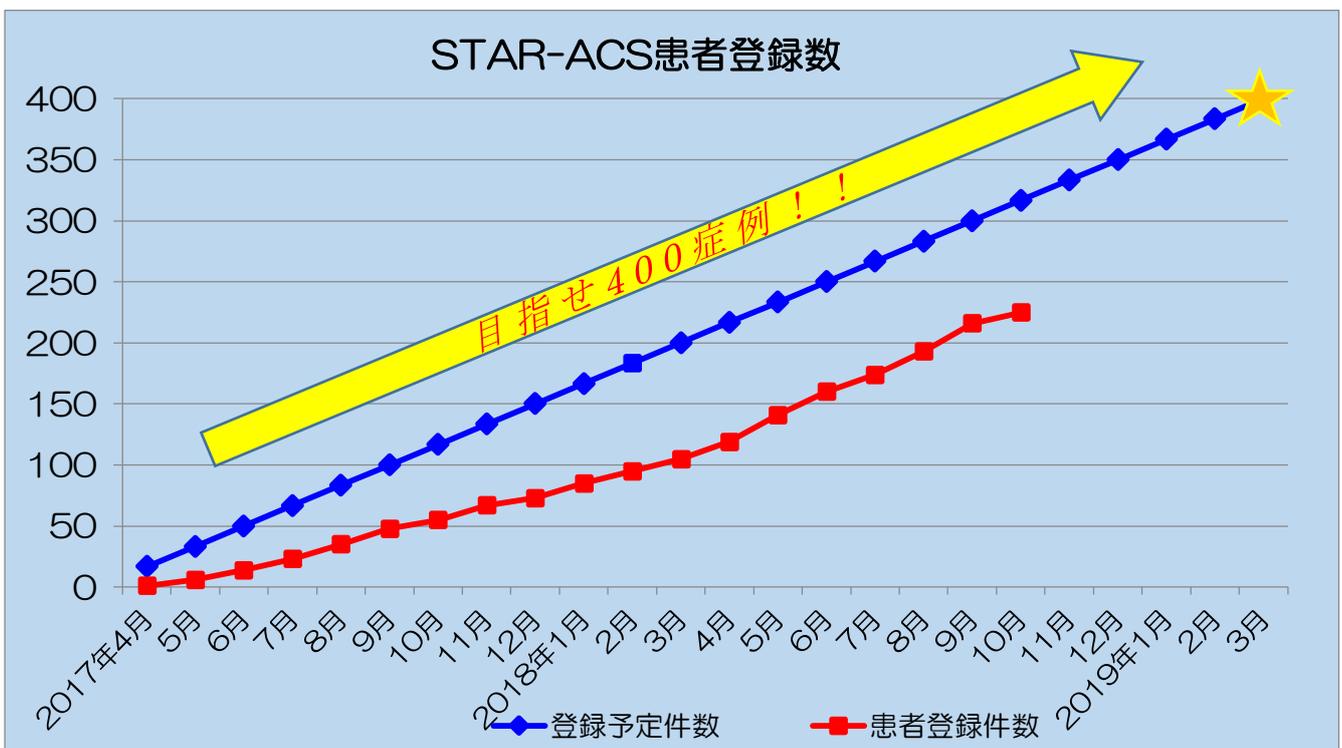
ご多忙のところ恐縮ではございますが、倫理審査並びに研究協力契約締結をお進めいただけますよう、引き続きお力添えを宜しくお願い致します。

また、新規患者登録につきましては、再度ご協力をお願いする次第です。先生方のご協力なくでは到底達成することはできません。

尚、EDC 退院時入力事項が完了いたしましたら、研究協力費として 1 症例につき 8 万円を支給致します。引き続きのご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

現在の参加施設数	倫理審査済み施設	契約締結済み施設
142 施設	122 (実施完了率 86%)	114 (実施完了率 80%)
現在登録症例数		今月の目標症例数
225/400 件		317 件

※平成 30 年 10 月 16 日現在



(青色の線は登録予定件数、赤い線は現在の患者登録件数を示しています)

【登録症例数ランキング】

# 症例登録数施設ランキング

施設名	症例登録数
順天堂大学医学部附属静岡病院	15
一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院	13
公立大学法人奈良県立医科大学附属病院	9
公益財団法人 天理よろづ相談所病院	8
鳥取大学医学部	8
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	8
学校法人東海大学	7
公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院	6
昭和大学藤が丘病院	6
順天堂大学大学院医学研究科	5
国立大学法人熊本大学医学部附属病院	5
国立大学法人高知大学 医学部附属病院	5
社会福祉法人 三井記念病院	5
帝京大学医学部	5
公立大学法人和歌山県立医科大学	5
埼玉医科大学国際医療センター	5

STAR-ACS<sup>☆</sup>

2018年10月16日時点

惜しくもランキング外（登録症例数 4）順不同

医療法人社団 誠馨会 新東京病院  
 独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院  
 兵庫県立姫路循環器病センター  
 公立大学法人横浜市立大学附属病院（市民総合医療センター）  
 総合病院 土浦協同病院  
 医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック

**登録等に関してご不明な点、お困りのことがございましたら  
 事務局までご相談・お問い合わせください。**

## 【事務局からのお願い】

### ＜予定症例数に到達したご施設様へ＞

該当する患者様がおられましたら、是非とも引き続き登録をお進めいただきますよう宜しくお願い申し上げます。  
尚、追加登録を進めるにあたり、研究計画の変更申請、契約変更覚書等締結の必要がございましたらご連絡いただけます様お願い致します。

### ＜ご連絡下さい＞

責任医師、担当医師の変更がございましたら、ご連絡ください。  
EDC 入力者登録の際にはご氏名、フリガナ、メールアドレスが必要となります。

## 【ご協力のお願い】

### 被験者が転院した場合の 1、2 年次追跡調査方法

転院先の主治医に問い合わせを行って、情報収集をしてください。  
どうしても主治医へ問い合わせができない場合は、被験者へ問い合わせをしてください。

被験者にイベントや有害事象が発生したときは必ず、速やかに EDC へ入力してください

今後とも引き続き症例登録のご協力よろしくお願い申し上げます、  
昼と夜の寒暖の差が大きい時期ですので、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

謹白



### 【連絡先<返信先>】

順天堂大学 臨床研究・治験センター内  
STAR-ACS study 事務局  
〒113-8421 東京都文京区本郷 2 丁目 1 番 1 号  
E-mail: [juntencrc@juntendo.ac.jp](mailto:juntencrc@juntendo.ac.jp)  
TEL: 03-3814-5672(直通)  
FAX: 03-3813-5018  
岩崎 昭夫 植田 莉英子 前多 久美子  
野尻 宗子 北村 咲子 小野 敬子

